

総会当日の様様

当日は、理事・代議員の参加は委任状を含め 92 名。

小高会長より、まず自主事業が無事終了したお礼と、総会議事での組織改革への提案について話され、仲川市長他、来賓の挨拶に続き、議長に広沢一岐さんを選出して議事に入り、事業報告・決算報告を承認。

「会長推薦理事」から、理事会の承認で選出される「選任理事」へと会則変更が議決されたため、休憩に入り、別室にて団体代表理事だけの臨時理事会を開き、提案の 20 名全員を「団体代表理事と選任理事の配分を十分考慮する」ことを付帯条件に承認。

役員案も承認され、総会を再開し、議案はすべて拍手で承認。閉会となった。

(広報委員会・高沢記)



----- さやま・文化の息吹 -----

狭山市写真作家協会

当協会は狭山市の写真美術の振興と市民文化の啓蒙に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的として 10 年前に発足し、活動している。会員はプロからアマチュアまでの幅広い写真作家、写真愛好家を中心に 31 名で構成されている。

主な事業、活動としては毎年 1 月の当協会の「写真展」開催をはじめとして、写真技術の向上と会員相互の親睦のために「写真談話室」を四半期毎に開催、狭山市文化団体連合会の「市民芸術祭」での写真展示、「さやま大茶会写真コンテスト」などでは作品の審査などに協力。昨年度は、豪雪で有名になった狭山市の友好都市である新潟県津南町の写真サークルからの作品を、当協会展に特別展示した。また、こちらからは津南町雪祭りを機会に「津南フォトクラブ」を訪問するなど、写真を通じての交流などの文化活動を行った。

当協会は本年度創立 10 周年を迎え、先の 5 月 14 日の定例総会で新会長に栗原忠治氏、顧問に大橋治三氏他の役員が選出され、新たな一歩を踏み出した。10 周年記念事業としては津南町との交流の他、来年 1 月には、「狭山市写真作家協会展」及び当協会顧問の大橋氏の講演会などを計画している。

狭山市写真作家協会
事務局長 仁後文晃

